

元祖 モリモリ書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書だより

や、はつ、「羊沢」も、おもしろいぞうか。新作も読もうぞうか。

第35話 R02.08.28(金)
「童話×ミステリの
すてきな可能性。」

★今回、紹介する本は、『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う』（著/青柳碧人、出版/双葉社）です。

前作『むかしむかしあるところに、死体がありました』では、「日本の昔話×ミステリ」という絶妙な組み合わせがすばらしかったですが、今回は、「外国の童話×ミステリ」です。しかも、前回は短編でしたが、今回は、赤ずきんを主人公に、最後は、壮大な物語に変化しますー。

シンデレラ、ヘンゼルとグレーテル、眠れる森の美女、マッチ売りの少女など、おなじみのキャラたちが登場し、殺人事件にからんできます。

童話をうまく使ってミステリに仕立てているところはさすが。しかも、魔女や天使もでてくるし、動物もしゃべるし、何でもあり。だけど、ミステリの仕掛けはしっかりしています。前作よりも笑えるし、赤ずきんの奮闘ぶりがなんともほほえましい1冊です。ぜひ！！



五月女子のイラスト、本好きの好みます。

有名な童話が★
意外な組み合わせ★
よみがえり！！

決めマリフ

ねえ、あなたの犯罪計画は、どうしてそんなに杜撰なの？
(p.113)

いつでも、前向きになよ。
(p.122)

ラストはミステリにセゾな考察な展開に！！

笑わせろTIPS. だませろ！！